

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

NPO法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：パレット保育園 妙蓮寺	種別：認可保育所
代表者氏名：樋口 奈々恵	定員（利用人数）： 50 名
所在地：〒222-0023 横浜市港北区仲手原1-18-13	
TEL：045-710-0149	ホームページ：https://p-hoiku.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2019年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 理究	
職員数	常勤職員： 18 名 非常勤職員 2 名
専門職員	園長 1名
	保育士 15名
	栄養士 2名
施設・設備 の概要	（居室数）
	8室
	（設備等）
	保育室・事務室・調理室・面談室・更衣室など

③理念・基本方針

ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。

ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

妙蓮寺駅から5分ほどの高台にあり、木造2階建、太陽の光が一日中射し込む明るい園舎と、広々とした園庭があります。

「全脳教育理論」に基づく「どんちゃか式幼児教育」を実践しています。

能力開発プログラムに基づくカリキュラムや教材を活用した指導を展開しています。

「感性を磨き、知性を育み、体力を養う三位一体のバランスのとれた保育」で、人間としての土台を築いていきます。また、食事や午睡などの生活の場面や散歩などの活動の場面で「縦割り」保育を取り入れ、クラスごとの「横割り」保育と組み合わせた保育をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月20日（契約日） ～ 2022年3月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

◎総評

◇特に評価の高い点

◆子どもたちは整えられた環境の中で保育士に見守られ穏やかにのびのびと過ごしています

園は子どもたちが自発的に遊び、生活が出来るよう環境作りに取り組み、どの場所も整理整頓された気持ちの良い空間になっています。子どもたちは園庭や散歩先、保育室で、それぞれが思い思いに好きな遊びを楽しんでいます。基本的な生活習慣をスムーズに身に付けるために生活の動線は考えられています。0歳児クラスから保育士は見本を見せ、少しずつ自分でできるように手伝いながら見守っています。子どもたちは励まされ褒められて、着替えやおもちゃの片付けなど自分でできるようになっていきます。何歳になっても、保育士は子どもたちを急かすことはなく、それぞれのペースでできるように待っています。早く準備ができた子どもたちは保育士と歌ったり、手遊び、ゲームをしたりして友だちを待ちます。遅かった子どもは「お待たせしました」と合流します。保育士が子どもたちを「大きな家族」の一員として見守る姿勢が子どもたちもお互いを認めることに繋がり、穏やかに過ごしています。また、保育士は子どもの気持ちをしっかりと聴くことを徹底し、気持ちを引き出すように心掛けています。子どもたちは安心して自分の気持ちを表すことができ、どの年齢の子どもものびのびと過ごしています。

◆職員の人材育成と保育の質の向上に向けて力を入れています

法人は年間研修計画を作成しています。また個人別に年間研修計画を作成して、外部研修も含め研修に積極的に参加できるようにしています。研修を受講した職員は報告書を提出し、必要に応じて伝達研修を会議の時間におこなっています。施設長は新人向けに「妙蓮寺マニュアル」を独自に企画作成し、日々の細かい動きの確認を出来るようにして新人の育成に力を注いでいます。また園内研修で「園の良い点、問題・課題点、今後さらによくするために必要なこと」をテーマに職員と話し合い、職員が課題と感じた事をお互いに伝えやすい環境づくりに力を入れています。日々の振り返りの確認や日常の保育の様子から、「環境」「言葉掛け」などについて気づいた時にはすぐに会議のテーマに取り上げ、保育の質の向上に力を入れています。

法人は実施した研修の評価、分析をおこない、次年度の研修計画に反映しています。

◇改善を求められる点

◆保育所の専門性を活かした子育て支援や地域との連携が期待されます

園は開園3年目で、現在はコロナ禍でもあり、まだ地域との連携が取れていません。園の保護者に対する寄り添った支援同様に地域の人に向けても子育て支援を考えていくことが期待されます。地域住民に園の取組を発信したり、園庭開放や電話での育児相談、栄養士などの専門性を活かした講習会をオンラインで企画したり、園児が小学校や地域の人々との交流を持てるようにコロナ禍でも可能な積極的な取組が今後期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

パレット保育園・妙蓮寺園は「大きな家族」という理念のもと、保護者の方、スタッフが丸となって、ひとりひとりの子どもたちにとって、また、園に関係する全ての方（在園児や保護者はもちろん、卒園児や地域の方々）にとって、いつでも安心することのできる、あたたかな居場所となるような保育園を目指しております。

開園から3年というタイミングでの受審となり、全職員で改めて、日頃の保育や、園内環境について話し合い、新たな課題点や改善方法を考える機会となりました。

コロナ禍ということもあり、なかなか実施の難しかった課題として、地域のみなさまとの関わりについてもアドバイスをいただくことができ、その大切さに改めて気づくこともできました。また、今後は保育士の専門性のさらなる向上に力を入れ、その専門性を存分に発揮した保育、園運営を行い、地域社会の中での役割を担う保育園となれるよう、成長していきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり